



よいた

No.161 11月号

町だより 町長 平沢甚九郎

昭和54年11月10日 ■発行/与板町(代表者与板町長平沢甚九郎) ■編集 与板町だより編集委員会



健康の汗、さわやかに

ゴールはもうすぐ……

秋晴れのよい天気めぐまれた11月2日、与板高校で校内マラソン大会が行われました。女子は4.8km、男子は7.6kmのコースを総勢 694名が、さわやかな秋の日ざしをいっぱい浴びて懸命に力走しました。

人口の動き

10月31日現在	
()は9月末との比較	
人口	7,884人 (+9人)
男	3,836人 (+3人)
女	4,048人 (+6人)
世帯	1,811 (+4)
出生	12人
死亡	1人
転入	15人
転出	17人

秋の全国火災予防運動	2
第十三回錦鯉品評会	3
渡辺さん母子に優秀賞	3
年金だより	4
不法投棄禁止	4
国保にご理解を	5
社教だより	5
カメラあるき	7
(スポーツと芸術の祭典)	8
相模放葉について	10
私の城下町	10
心配ごと相談室	11
税金あれこれ	11
保健衛生だより	12
お知らせ	12

おもな内容



保健衛生だより

- 12月4日 13時30分から15時
母親学級(前期) 母子センター
対象者 S.55.4~S.55.7月分娩予定者
- 12月6日 13時30分から14時30分
生ワク投与 母子センター
対象者 第1回目 S.54.1.1~S.54.5.31迄出生者
第2回目 S.53.6.1~S.53.12.31迄出生者
- 12月7日 13時30分から14時30分
三種混合(二期) 母子センター
対象者 S.51.4.1~S.51.8.31迄出生者
- 12月7日 13時30分から14時30分
インフルエンザ 母子センター
対象者 園児(希望者)
- 12月10日 13時30分から15時
乳児検診 母子センター
対象者 S.53.12.1~S.54.3.31迄出生者
- 12月17日 13時30分から15時
1才半児検診 母子センター
対象者 S.52.12.1~S.53.3.31迄出生者

愛の献血ありがとうございます。
献血十五回以上の協力者に与板町献血友の会より感謝状を贈りました。

(敬称略)
八子 輝夫 柳ノ町
宮島 稔司 安永町
川野 安 戸永町
浜田 舟安 戸永町
佐藤 茂雄 南新町
岩下 武郎 北新町
小水 清介 横町
林野 フユ 横町

矢野 浩一 稲荷町
吉川 範子 与板町
戸田 堂前中島町
小川 堂前中島町
小林 水道 都町
小川 美代次 都町
これからの多くの皆さん
の愛の献血をおねがいいた
します。



第四回三島郡銃剣道大会
開催日 十一月十八日(日)
午前九時三十分より
▽会場 与板小学校体育館
▽会場 与板小学校体育館
※各町村の選抜チームの
熱戦が展開されますの
で、多数の観戦をお願
いします。又、個人戦
には飛入りも歓迎いた
します。
与板町銃剣道連盟

テレホンサービス11月分予定表

日	曜	テーマ	日	曜	テーマ
1	木	石油製品の価格 動向	17	土	消費生活相談事例
2	金		18	日	石油製品の価格 動向
3	土		19	月	
4	日	消費生活相談事例	20	火	電気毛布の上手 な使い方
5	月		21	水	
6	火	身近かな材料で しみ抜きをする 方法	22	木	消費生活相談事例
7	水		23	金	
8	木	ガス湯わかし器 の上手な買い方 使い方	24	土	県基準が定めら れた単位価格表 示
9	金		25	日	
10	土	町を離れた方々に広報紙 を送ろう	26	月	消費生活相談事例
11	日		27	火	
12	月	町を離れた方々に広報紙 を送ろう	28	水	消費生活相談事例
13	火		29	木	
14	水	町を離れた方々に広報紙 を送ろう	30	金	消費生活相談事例
15	木		16	土	
16	金				

交通事故相談所の開設
とと き 十二月十三日(木)
午前十時から
午後十時
とと ころ 役場男子厚生室



暖房温度は19℃

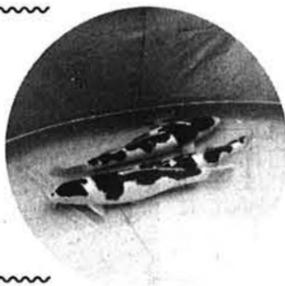
十一月二十二日(木)
午前九時~午後一時まで
地域||塩ノ入・本与板・
原・東与板一帯
停電のおしらせ

町を離れた方々に広報紙
を送ろう
町を離れている家族や友
人、知人に町の発展する姿
や出来事などを知っていた
だくため「町だよりよいた
を送ってみませんか」
料金 一年分 千円(実費)
申込 送り先の住所、氏名、
郵便番号を明記のうえ料
金を添えて役場総務課へ

ダイヤルしましょう (0252) 67-7000
今すぐ役立つ消費者情報
「ハイ県くらしのダイヤルです」

第13回

あでやかに 錦鯉品評会開かれる!!



厳しい審査をうける品評会風景。

第十三回与板町錦鯉品評会が、十月二十一日、与板町役場で開かれました。出品された百余点の錦鯉は生産者自慢のものだけあって、これまでにない水準の高い品評会でした。各部の入賞者は次の通りです。

- 総合優勝(町長杯) 紅白 馬越養鯉組合
日報賞 三色 笠原和雄
第一部(18cm未満) 優勝 紅白 小林一夫
準優勝一席 紅白 安達哲雄
紅白 安達哲雄
準優勝二席 紅白 安達哲雄
紅白 安達哲雄
紅白 吉岡孝太郎
大和錦 山源観魚園

- 第二部(18~28cm未満) 優勝 アイ衣 吉岡淳二
準優勝一席 紅白 山源観魚園
準優勝二席 大和錦 山源観魚園
三色 馬越養鯉組合
第三部(28~38cm未満) 優勝 紅白 馬越養鯉組合
準優勝一席 紅白 笠原和雄
アイ衣 吉岡淳二
準優勝二席 紅白 山村一郎
三色 山源観魚園
昭和三色 馬越養鯉組合
第四部(38~48cm未満) 優勝 紅白 吉岡孝太郎
準優勝一席 紅白 山源観魚園
昭和三色 笠原和雄
準優勝二席 紅白 山田与喜男
ベッコウ 笠原和雄
その他 山崎甚一
第五部(48cm以上) 優勝(議長杯) 紅白 吉岡孝太郎
準優勝一席 紅白 山源観魚園
三色 馬越養鯉組合
三色 笠原和雄
準優勝二席 五色 山源観魚園
昭和三色 吉岡淳二
紅白 河野政吉
紅白 吉岡瀬一郎

第28回

母と子のよい歯のコンクール全国大会

渡辺さん母子(柳之町) 優秀賞に輝く

よいた町だより9月号で紹介しました渡辺初代さん克博くん母子が新潟県代表として、厚生省、日本歯科医師会主催の第28回母と子のよい歯のコンクールにおいて、みごと優秀賞が与えられました。

その子の歯の質の良さはもちろんですが、お母さんが一生懸命に子供の歯みがきをしているようす。大阪府代表の岡田さんは「歯は一生つかうものだから」という自覚のもとに、悪戦苦闘しながら子供さんの歯みがきを続けられたそうです。

於島さんは三十年間、交通事故防止に活躍され、現在与板町交通安全協会副会長をつとめられ安全策の立案や街頭指導に当たるなどの交通安全功労を認められ財団法人全日本交通安全協会より表彰されました。おめでとございます。



於島さん 交通安全協会 緑十字銅章を受章

厚生大臣表彰を受く 与板保育園長豊田秀信氏 社会福祉事業功労者として十一月二日東京日比谷公会堂にて全国社会福祉大会の席上表彰されました。今後共社会福祉事業にご尽力下さることをご期待申し上げます。



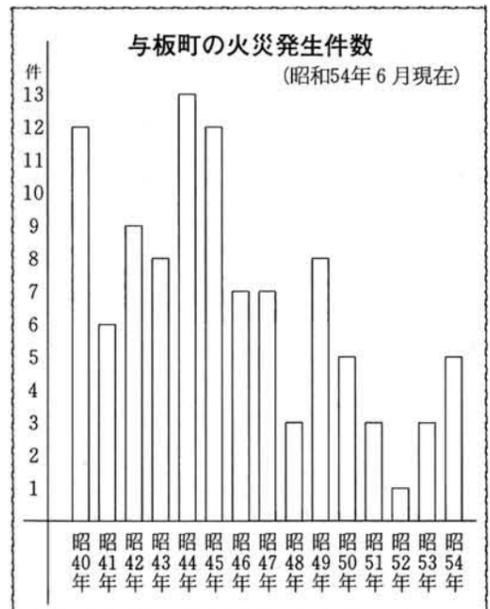
豊田秀信氏 厚生大臣表彰を受く

秋の全国火災予防運動 11月26日~12月2日 これくらいと思う 油断を火が狙う



十一月から三月にかけての冬場は、石油ストーブなどの暖房器具を使うことから、一年のうちでも最も火事の多い季節です。火災の原因をみますと、暖房器具の中で一番多いのは、なんと石油ストーブです。昭和五十三年の統計では、ストーブによる火災二千七百六十六件(全国)のうち七五%にあたる二千七十六件が石油ストーブによるものです。

- 暖房には欠かせない石油ストーブですが、取り扱いは一つで恐ろしい「火魔」に一変します。
「給油する場合」
「置き場所」
「周囲の状況」
「新しく買う場合」
「対震自動消火装置」



消防水利 用する消火用の水です。そこで、与板郷消防署では、多くの住民の皆さんに要望にこたえるため「水そう付消防ポンプ自動車」を購入しました。

与板町の主な出火原因
第1位 風呂釜戸の不始末及び煙突の火粉
第2位 暖房器の不始末
第3位 子供の火遊び
第4位 焚火の不始末
第5位 鍛冶用モーターの過熱
第6位 乾燥器の不始末

ことが出来、又水利のない高速自動車道路上の自動車火災等にも活用できる。また、この外「消防水利」には、どんなものがあるかといえます。
・私設消火せん・防火水そう・プール・河川、池、沼などがあります。
火災の消火作業は、一分一秒を争います。日ごろから、「消防水利」をいつでも使えるような状態にしておくことが大切なことなのです。



よい た 町 だ よ り

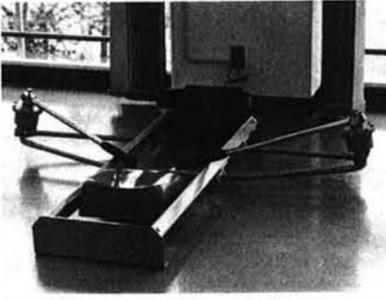
これから寒い冬に向い、家にとじこもりがちになります。家族で、またはグループで体育館に行き、ケガのないように正しく使って健康な精神と体力づくりに役立ててください。

尚、体育館の使用は、月曜日は休館となり、使用出来ませんので、ご了承下さい。



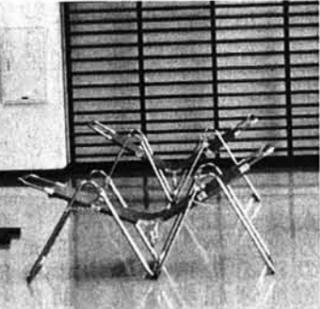
●ベルトバイプレーター

ウエスト部分にベルト(帯)をあてて、電気の振動がベルトに伝わり、ベルトの振動により血流をよくし、ウエストをひきしめます。



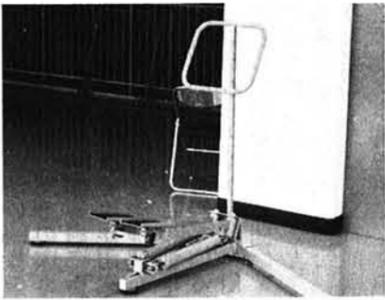
●ローイングマシン

足首を固定し、椅子(移動用)に腰をおろして、左右のアームを両手でこぎながら全身の筋力を養うものです。



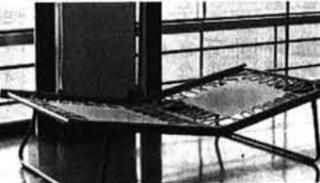
●スタイリ

キャンパスの上に、うわむきになり、または伏して乗り、腰が上下するように身体を動かすことにより全身のやわらかさ(柔軟性)を養います。



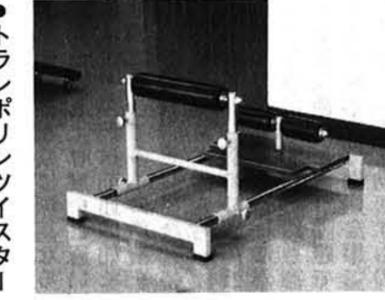
●ローマンチェア

足首を固定して、支持金棒(レザールのまいてある)をひざ関節の下部にあて、ひざがはなれないようにして、体を上下することによって、下肢筋力を養うものです。



●トランポリンツイスター

支持金棒に両手でつかまり、左右二枚のナイロンキャンパスを使ってジャンプします。左右をいったりきたりして空中でのバランス(平衡性)を養うものです。



●ローマンチェア

足首を固定して、支持金棒(レザールのまいてある)をひざ関節の下部にあて、ひざがはなれないようにして、体を上下することによって、下肢筋力を養うものです。

町民体育館に トレーニング用新機種が入りました

町民体育館の二階トレーニング室に、新しく次のような新機種を購入設置いたしました。

54. 11. 10発行

六種類の機種は、平衡感覚を養うものや、筋力を養うもの、そして美容教室などでよく見かけるウエストをひきしめる機械など、いろいろな目的に応じて使い方が出来るものばかりです。

親子魚つき大会

晴天にめぐまれた10月28日、旧黒川一帯で町民親子つき大会が行なわれました。参加者も大人30人、子供42人と沢山の希望が秋の日差しをいっぱい受け魚つきを楽しみました。

主な入賞者は次のとおりでした。

- <大人>
- 優勝 森山俊行(横町) 3,870g
 - 準優勝 松井隆夫(本と板) 3,220g
 - 三位 田中文雄(横町) 3,200g
- <子供>
- 優勝 山田康晴(船戸) 1,310g
 - 準優勝 山田満(南新町) 1,240g
 - 三位 長田清志(下町) 1,120g

与板町長杯争奪野球大会

秋晴れの絶好の野球日和にめぐまれた十月二十八日、信濃川河川グラウンドに二十チームが参加し、今年最後の野球大会が開かれ、熱戦がくり広げられました。

シーズンオフには各チームとも体をきたえ、また来シーズンの開幕には元気にグラウンドで会いましょう。

今年シーズン最後の町長杯争奪野球大会に、我堤下スポーツクラブが初優勝を飾る事が出来ました。皆でスポーツを通じて楽しく、(和)を持つと、集まってから五年、その間に準優勝等が有りましたが、今一步の所で優勝を逃し、又今シーズンは最悪の成績でしたので、より大きな喜びであり、その勝因は何と云っても技術よりチームワークで、選手と応援してくれた人達が、一丸となって盛り上げた事が優勝に結びついたようです。

今回の優勝を機会に益々楽しく息の長いクラブにして、来年はVを自さし頑張りつむりです。

五年目の初優勝

堤下クラブ

年金だより

20才を迎える国民年金

～老令化社会のあらしの中で～

国民年金法が、昭和三十四年に施行されてから、今年で満二十年となりました。これを記念して新潟県では十一月一日、新潟市音楽文化会館で、関係者五〇〇名の参集のもとに「国民年金法施行二十周年記念大会」を開催する外、十月及び十一月を記念事業月間として、年金相談所の開設、テレビ放映等、種々の行事を計画しています。

戦後、食生活の改善、医療の進歩に伴い、日本人の平均寿命は著しく伸び、六十五才以上の者が非常に多い、いわゆる「老令化社会」となり、更に、家族構成は、核家族化する傾向にあります。

老後の生活設計の主柱である年金の重要性が叫ばれ、どのように改革すべきか、種々の機関から、意見が発表されています。

このような時に、国民年金が人間に例えれば、うぶ声を上げてから二十年たち、成人になったと云うことは意義が深く、これを機会に町民一人一人が真剣に「老後の年金」を考える必要があると思います。

不法投棄禁止!! 特に多い建築廃材



最近、山や川等にゴミや廃棄物が不法に棄ててあるのを見受けられます。不法投棄は自然を破壊し

土壌や水を汚染させると共に川の流れを阻害することになり、法律によって罰せられます。

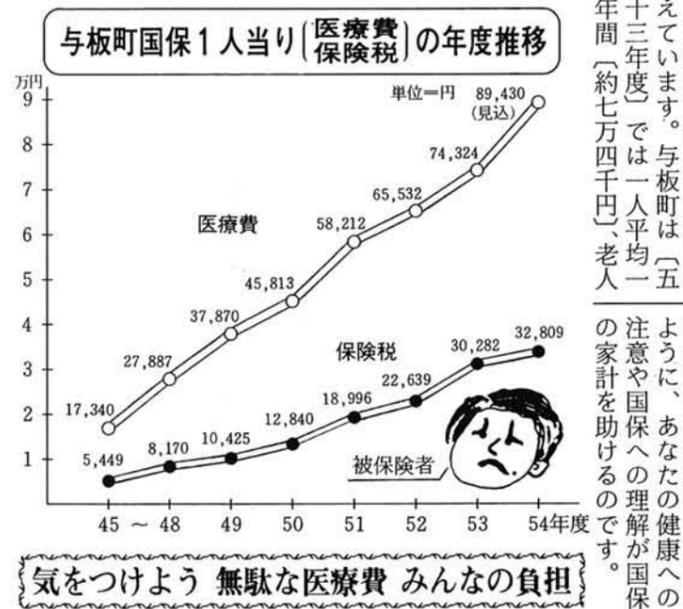
又、投棄した者については、投棄物の回収と現場を旧に復させると共に、場合によっては告発することになります。

美しい自然を保護するため、皆さんの協力を願って山や川への不法投棄を発見した時は、ただちに役場保健衛生課へ通報下さるよう御協力下さい。

(☎33-100 内線十三三) みんなで、きれいな町づくりをしましょう。

秋の一斉ねずみ駆除運動!
11月1日～11月30日

県民総ぐるみの組織活動により、ねずみによる伝染病、食中毒等衛生上の被害並びに農作物等経済上の被害を総合的に防除し、清潔で快適な生活環境を作るため、お互いにこの運動に協力し、これを期にねずみ駆除を徹底し、住みよい町にしましょう。



気をつけよう 無駄な医療費 みんなの負担

健康で明るい くらしのために

あなたの医療費はどれ位か
ご存じですか?

医療費は激増している。医療費は激しい勢いで増えています。与板町は「五十三年度」では一人平均一年間(約七万四千円)、老人では「約二十三万円」の医療費が使われています。これは「十年前」に比べて「六・五倍」にもなりま

す。そして今後も医療費は増えつづけ、昭和五十八年度には国民全体で二十兆円を超えるだろうと云われています。

無駄使いはやめましょう。国保はあなたの家計と同じです。病人が増え、医療費が多くなれば、それだけ皆さんの「国保税」をみ

んなで出し合わなければなりません。あなたは日頃から健康に注意して、あなた

の健康に注意して、あなたがあなたの家計を助けるように、あなたの健康への注意や国保への理解が国保の家計を助けるのです。

新潟県最低賃金の改定

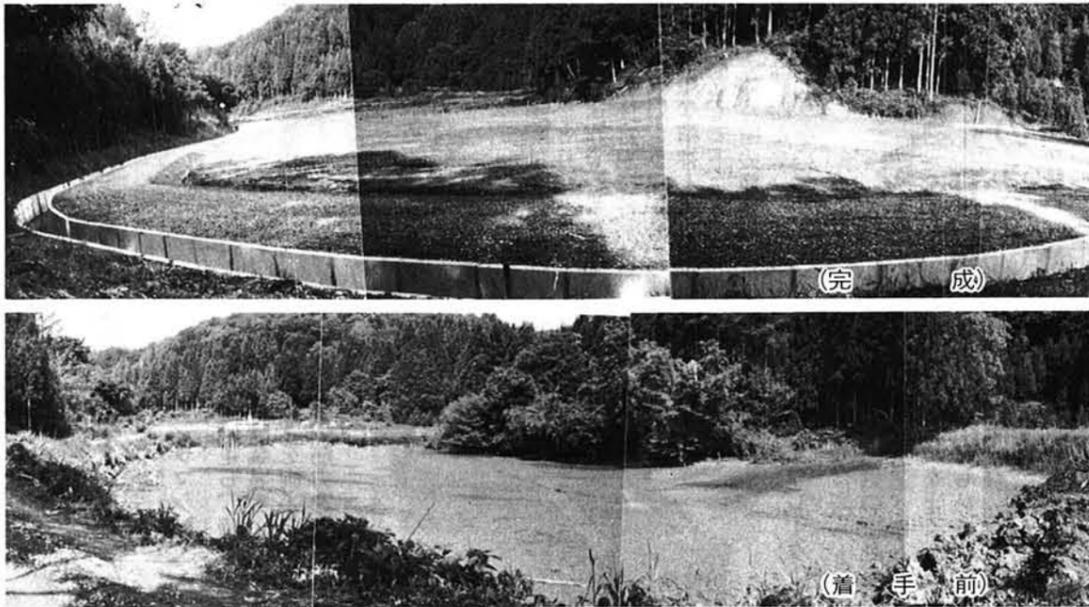
県内の労働者に適用される最低賃金額が改定されました。業種別に定められている以外の業種にあっては10月13日から、1日当り 2,542円 (1時間当り 319円) が適用されます。

詳しくは長岡労働基準監督署 (☎33-8711) におたずねを。

そろそろ暖房の季節

11月は「ガス安全使用強調月間」です。暖房器具類は早めに点検を実施して、安全にお使いください。都市ガスに関する連絡やお問い合わせはガス企業団 ☎3916へ。

楨原に待望の スポーツ広場が出来ました



(完成)

(着手前)

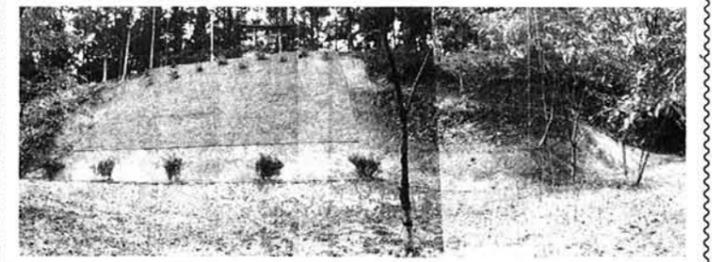
この場所も広さもまだあまり知られてはいないと、近九月三十日に町長さん、議長さん、総務文教の議員さん、教育委員さん、倉品土木課長さんをお迎えしてオープンしたばかりなのである。場所は楨原部落の西南で夏は緑の山に囲まれ、秋ともなれば紅葉がきれいな色どりを、見せてくれる閑静な所で、山合いを流れる水は質、量ともに評価された。かつて昭和初期の頃、県の水産試験場として淡水魚の養殖研究に供した時代も有った。其の後の幼い頃なで定かではない。その広さは六五八〇平米で一周二百メートルのトラックが出来ると申し上げたら御理解を戴けると思う。又この池は二百年の歴史をもっているといわれ、古くから農業用水として使われたと聞いている。傍ら防火用水としての役割も果たしてきた。又戦前戦後の食料事情の悪かった頃は食用魚の養殖にも使われ、近年に至っては、錦鯉の養殖が青年団事業として取り入れられ、楨原内のみならず近郷にまで錦鯉ブームを呼んだのも皆様方御存知の事と思えます。省みて此の池は部落民と共に、其の時代時代に順応し多くの利益

をもちた池だっと思おう。数年より埋立てて何かに利用すべきで有ると云う声は低流として存在していた。たまたま時代の進歩は車の増勢をよぎなくし、その為には起る交通事故から幼児を守る遊園地にしては又永年地域に貢献された老人方の憩いの場として、更に若人の健全なる心身を鍛練するスポーツの場はどうか。この様な考えは青年層を中心に中広く部落各層の間に進展し部落総会の議を経て町当局に請願の運びと成った。其の後二ヶ年足らずして立派な広場が完成したのである。町当局に對し部落の皆様に共に深甚なる感謝を申し上げたいと思ひます。この池は前述の如く地域に對して多くの功績を生んでくれ、そして今、装いも新しくスケールも一段と大きく、楨原の広場として、楨原全域の皆様に奉仕する事に成った。然も為す事は人造りと言う課題である。池もさぞ満足な事であろう。「人を動かすものは主義では無く人格だ」と誰かが言った言葉を思い出す。この老若男女の集う広場が、より一層豊かな心を造り出してくれる事だろう。装いを汚さないように手入れもしてやらなければならぬと思ふ。この原稿を書き乍ら三波春夫の五輪音頭

直江山城守居城跡、城山、復旧!

このたび、与板城主・直江山城守居城跡の城山の復旧工事が県並びに町からの補助金をいただき行われ、先日この工事が完成いたしました。この工事は、本丸周辺の土砂崩壊復旧で、所々にツツジを植え、山肌には芝を張り、リッパに城跡の復元が行われました。また、山道もきれいに整備され、来年の城山山開きは桜の花に加え、芝の緑にツツジの花が色を添え町の観光のシンボルとして、楽しむことができることでしょう。

城山史跡保存会



与板町青年リーダー 研修について

毎年行なわれております青年リーダー研修を、今年も例年通り十月か十一月頃行なう予定でしたが、都合により来年三月下旬に変更することになりました。詳細は期日が近づきましたらチラシ等でお知らせ致しますので、多数の参加をお願いします。

与板町青年団体協議会

社交ダンス 講習会



与板町青年団体協議会では、来る十一月二十二日(土)に行なわれるクリスマスダンスパーティーのための社交ダンス講習会を左記の通り行なっております。だれでも気軽に踊れる社交ダンスを、この機会に習ってみませんか。

期日 毎週月・木曜日
午後七時四十分より
会場 与板中学校体育館

バスケット 部員募集中



体協バスケット部では、ついに新しく出来た体育館で汗をながす仲間を募集しています。

希望者は代表・菊口勇人(☎二〇六二)又は教育委員会(☎三五二八)へ。
練習日は毎週木曜日です。

歴史愛好会 会員募集

与板町歴史愛好会では、郷土の歴史を研究し大切な文化財を守っていく仲間を募集しています。

会費 年間千円
申込 教育委員会事務局へ

就学児 健康診断



来春入学予定の就学児童健康診断が行なわれます。むし歯などがありましたら入学式まで治療しておきましょう。

日時 十一月十五日(休)
受付 十二時三十分より
開始 十三時より
当日は健康診断と知能検査を行います。時間に遅れないようにしましょう。



スポーツの秋 たけなわ

スポーツの秋です。各地でいろいろな大会が催されています。第四回少年少女親善オリンピックが、小学生と小学五、六年生を対象

に十月十日の体育の日に、秋晴れの下、長岡陸上競技場で行われました。

与板小学校は、今年で二回目の出場でした。出場選手は、毎日、放課後遅くまでハード・トレーニングを積み参加しました。その結果をお知らせいたします。

また、十月十一日には、三島郡第二区親善陸上競技大会が、前日に続くスポーツ日和の好天に恵まれた楨原小学校グラウンドで行われました。日吉小、脇野町小、与板小三校の六年生が、熱戦を繰り広げました。

その結果、与板小学校は、次のように優秀な成績をおさめることができました。ご声援ありがとうございました。

大会記録 (※印は大会新)	
少年少女オリンピック	
<男子> 1000m 6位 3'23"1 片野 勤(5年)	走り高 1位 1m32cm※ 山田 和明 とび 3位 1m26cm 待井 俊哉 5位 1m23cm 浜田 雅晴
<女子> 800m 3位 2'36"2 矢川 史子(6年)	ソフトボ 1位 56m 服部 光彦 ール投げ 3位 50m 原 和弘
走り高とび 3位 1m31cm 小林 敦子(6年)	△女子▽ 100m 1位 14"7 中島 弘恵 4位 15"2 斎藤 旭子 800m 1位 2'44"9※ 矢川 史子 3位 2'55"3 高木 浩美
二区親善陸上	
△男子▽ 100m 3位 14"7 西野 章 5位 15"8 原 和弘 6位 16"5 待井 俊哉	400mリレー 3位 1'05"7 (A) 雅代 弘恵 小林 敦子・倉品 雅代 矢川 史子・中島 弘恵
400mリレー 1位 1'03"1 (B) 徹治 義治 山崎 博正・曾根 吉田	400mリレー 4位 1'05"9 (C) 秀子 恵子 笠原 昌子・石黒 明美・藤田 明美
400mリレー 3位 1'05"5 (C) 和行 一高 山田 光男・本間 隆地	走り巾 4位 3m79cm 中島 弘恵 とび 5位 3m77cm 矢川 史子
走り巾とび 2位 4m16cm 西野 章 4位 4m11cm 曾根 徹治 待井 俊哉 山田 和明	走り高 1位 1m23cm※ 矢川 史子 とび 2位 1m15cm 小林 敦子 藤田 恵子
	ソフトボ 1位 38m 大矢 恵美子 ール投げ 4位 36m 相沢 つゆ子 5位 35m 相沢 真美子

初めてのミニキャンプ

与板小五年 柿 倉 裕 子
わたしは、この与板町子



供会に入って、とてもよかったです。それは、毎月子供会で、いろいろなとも楽しいレクリエーションなどをしたりして、おもしろいからです。

このあいだも、10月14日に、新しい町民体育館の前の駐車場でミニキャンプをやりました。わたしは、テントをはった。飯は、ごはんを焼いた。わたしは、初めまして。わたしは、初めまして。わたしは、初めまして。

日がたのしみでした。そして、初めてのミニキャンプは、テント作りから始めました。テントは、みんなで、六こできました。テントができたなら、いよいよご飯作りです。一グループは、六人づつで、飯ごうは、三つです。一つの飯ごうには、米を三ごうづつ入れて、火をつけて、飯をたきます。たき終わったら、ごはんの中をみてみたら、どこの班もみんなご飯は、おこゆでした。ご飯がたいたら、カレーは、カレー作りで、作りました。できたなら、

自分たちのテントで、ご飯にカレーをかけて食べました。ご飯はおかゆみたいだったけれども、カレーは、とてもおいしかったです。それから食べ終わったら、あとかたづけをして、テントもこわして、レクリエーションをやりました。それは、「はん人はだれだ」というのでした。

初めて作ったご飯は、おかゆみたいになっちゃったけれども、みんながきょうりよくして、ご飯とカレーを作ったのが、たのしかったです。この一日は、とても楽しい一日でした。

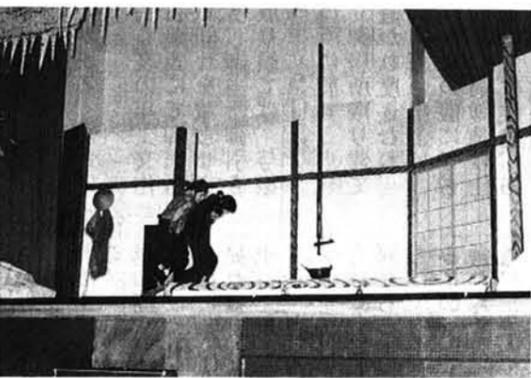


お母さんと園児の楽しい
フォーク・ダンス



新種目 安全運転リレー、二人の呼吸もピッタリ!!

文化祭



新しい体育館で上演された青年
学級の演劇「夕鶴」

満員盛況だった西体育館での写真展



親たちに人気のあった小・中
学生の作品展



町民体育大会



こぼさないように、こぼさないように、もう少しでいっぱいになりますヨ

最後の難関をくぐりぬけて、それ/もうすぐだ



オットトットトット...なかなかうまくキャッチ出来ません



ホォー、いい松だね.....丹精こめた作品ばかりの「盆栽展」

にぎやかにスポーツと芸術の祭典



快晴にめぐまれた体育の日の10月10日、町民体育大会が盛大に行われ、大勢の人でにぎわいました。会場となった与板小学校グラウンドでは、各種目で大張り切りの選手とつめかけた地元町内の大声援でなごやかに行われました。また文化祭には、芸術の秋にふさわしい作品が各会場に多数出品され、参観者の目を楽しませました。



優勝の喜び

いく日も降り続いた雨がこの日を待っていたかのようには晴れ上がり、秋空は抜ける程に高く青く、本天の恵みに感謝の気持ち一杯で迎えた町民体育祭の朝でした。今年からのところみかと思いますがどう(一寸とバラバラ)の入場行進で始まり、老いも若きも歯を喰いしぼり、息はづませて過ぎし小学生の頃を彷彿とさせるが如きの頑張りよう。珍ゲームの連続に喜び、苦しみ、笑い、何んとすがすがしい一日だったことか。小町内の私共蔵小路が一位

入賞など夢にも思わぬことと相成り、喜こんだりどまどつたりが正直なところでした。長距離ランナーの一位に送る拍手、最後まで完走のビリーのランナーにおしみなく送る拍手、一つのゲームにしてもベストをつくして頑張る、そうして勝者は敗者のくやしさに思いをいたし、敗者は勝者に心からの拍手をおくる。とかく大人、子供を問わず、心かすとかわいた人間関係の世情の中で他人の喜び、苦しみ、他人の心が解かる気持ち、そうした心の健康が育ぐくまれるならば身体の健康とともに本当に意義のある一日であり、大会運営にあたられた役員の方々も苦勞もむくいられるのではな一日でした。
蔵小路町内委員長
中村 光三

町民体育祭に参加して

〈競技の部〉	
第1位	蔵小路町内
第2位	上町町内
第3位	五軒町町内
第4位	中川岸町内
第5位	横町町内
第6位	船戸町内
〈応援の部〉	
第1位	長丁町内
第2位	横町町内
第3位	堤下町内

長丁応援団の優勝の歴史にかけて

長丁町内委員長
高橋 康夫



九月十日、町民体育館の第三会議室に各町内競技役員会議が開催される。一人の欠席者もない。町民体育祭プログラム、競技種目の内容、競技方法、応援団席の決定と会議は進むにつれて、おのづと熱気が感じられて、体育祭当日が思いやられた。早速「長丁だより」を通じて、毎月定期に発行し、いよいよ町民体育祭がやってくる。長丁の応援団の優勝の歴史にかけても完全優勝を果しましょうと激!!を報じた。直ちに町民体育祭実行委員会を結成し、そして応援体制の確立を急いだ。まず、応援団総括責任者を決定し、続いて応援団長、応援リーダーを選考して、応援体系と応援隊形を図系

して実行委員会にはかる。それにしても「優勝の絶対条件は何か!!」について色々話した。そして「明るい家庭づくり運動推進モデル地区」に因んで「明るい家庭」と題する漫画の主人公「サザエさん」に意見がまとまる。そこで作業日程を立て、応援歌の練習の日程をも立て、長丁ならではのユニークな所を表現するよう努めた。十月二日から毎晩、制作作業に専念。皆さんがよく集ってきた。大工道具を持参してゴリゴリやる人、サザエさんを描く人、きり抜く人、ペンキ持参で着色する人、自作の応援歌紹介しよう。私たちは香る長丁のほこりも高きわが選手走れ走れわが選手おやしき育ちの土根性をアコーデオンで指導する人、応援の振り付けをする人、カチ作りで竹をきる人、適材適所に自ら作る人となって、この協力の姿はすばらしいものだった。とかく利己的に理屈ばかり言う風潮のある昨今なのに、長丁にはそれが無い。それだけに感激もひとしお大きいうがなかつた。大会の朝は起床五時半、若い人の集である「親和会

の方々全面協力で作業は運び、グラウンドの応援団席づくりの終わったのは七時四十分頃だったろう。また出場選手名を「長丁だより」を通じて町内各戸にお知らせした。出場選手の皆さんには、出場種目と開始時間を書いて届けました。私どもの町内は「明るい家庭づくり運動推進モデル地区」の指定町内であり、その活動の一貫の活動でもあるということ、当日の昼食に「ニギリメシ」を持参してもらい、肉汁をサービスタ。家庭ぐるみの楽しい語り合いや、他の家庭との談笑もあつたりしてまことに有意義な体育祭の日をすごしました。もとよりスポーツはプレイすることそれ自体、及びプレイを観ることそれ自体に意義があり、楽しみよるこびがある。別の言葉でいえば、スポーツの文化性、その効用という点を見逃すことは出来ない。町民体育祭に象徴された。健康、体力、日常生活に顕現して、町内の皆様の生活が明るく美しくなっていくと信じてみんなど頑張りつてきた。その結果が優勝に結びついたのであろう。まことに、身に余る光栄と幸運に深謝している。



ポストコーナー

荷造りはしっかりと 小包は12月15日までに 住所は詳しく

例年11月中旬から年末にかけては贈答用の小包を中心に平常の2倍以上の小包が差し出されます。郵便局ではこの大量の小包をスムーズに処理するため、アルバイトの方を雇ったり、臨時の局舎や輸送便などを増やし万全の準備をしておりますが年末おし迫ってからの差し出されまると年賀郵便の処理と重なり年内に配達できないこともあります。そこで小包をより早くお届けするため次のご協力をお願いします。

▷小包は12月15日までに 小包は遅くとも12月15日までに差し出して下さい。特にお歳暮などをデパートや商店に発送を依頼される場合には早めに注文するようにして下さい。

▷荷造りなどにもご注意を 大量の小包の中には、包装が破れてあて先がわからなくなったり、中身がとび出したりするものがあります。荷造りは内容品に合った方法でしっかりと包装して下さい。

▷住所は詳しく 受け取られる方、差し出される方の住所はアパート名、棟番号、室番号や「〇〇方」又は「〇〇ビル」などの肩書きまでできるだけ詳しく書いてください。郵便番号も忘れずをお願いします。

年賀状の差出準備を 12月15日(土) 受付開始

今年も年賀状の準備をする時期になりました。今年お世話になった方や友人、知人の方へぜひ年賀状を出しましょう。年末もおし迫ると何かと忙しくなりますので、お早めに年賀はがきをお買い求めいただき、12月15日の引受開始日には出せるようにご準備ください。なお準備には次の点にご留意ください。 ○早めに住所録の整理をしましょう。 ○印刷は早目に手配しましょう。

心配ごと相談室

11月13・20・27日と12月4日

こんどはおかえし

附添い看護のため、脳外科の病棟で過ごしました。健康であることの尊厳と人々の善意、いたわり合いについてしみじみと感じさせられた十日間でした。病室の壁間には、患者の病状に応じた日課表がはってありまして「綱につかまって起きてみましょう」「右手にスプーンを持って食事をしましょう」「さ

あ、訓練の時間です」など。隣りのベッドは、入院して二ヶ月になる患者でして。看護する人は、かつてここで手術を受け、奇蹟的に助かったこの患者の旦那さんです。旦那さんの看護は奥さんの献身的な努力が大きかったそうです。今度は、奥さんが同じ病室になり、話すこともできなく、動くのはただ左手だけです。だから旦那さんにとっ手は、病人の看護訓練は手のもののようにです。元気づけ、励まし、時々罵事もとびます。そしてほめて、また叱りつけるのです。毎日毎日がこのくりかえしです。訓練を怠ると、そのままたまかたまり、病気が長びくからず。

「こんどは俺がおかえしよ」旦那さんは両肌ぬいで鉢巻をしめ、かたくなに動かない患者を動かそうとするのです。患者もたいへんですが、看護人もたいへんです。汗びっしょりです。こんな時、同室の附添人達は、みんなこの旦那さんの応援をするのでした。「旦那さんなればこそだ」「病人はしゃべれないが、心の底から喜んでるんだですよ。誰言うともなく、こんなことが出てきます。思わず目がしらがあつくなっています。おいしそうなものは、すべて病人の口に入れて、すべて病人の口で満足している旦那さんです。旦那さん、ご苦労さま」「奥さん、しっかりと



私もいつか皆さんといっしょに、この旦那さんに拍手を送るのです。 「こんどはおかえしよ」 自分に言いかけようようにつぶやいていたあの旦那さんのことを、今も時々思い出します。 相談員 石黒 テイ

税金あれこれ 所得税の第二期分は 十一月三十日まで 十一月は、所得税の予定納税第二期分の納税をする月です。 所得税は、通常七月、十一月、翌年三月の三回に分けて納税します。このうち七月と十一月に納める分を「予定納税」といい、前年の税額の三分の一ずつ納めることになっています。

先にお詫言ってお願ひしましたが、その後除却をされた方は、十二月十五日までに役場税務課へ申告書を提出して下さい。 この申告をされませんと除却された家屋に税金がかかってしまうことになりまので、忘れずに提出して下さい。

税を知る週間 11月11日～17日 税務課

相続放棄について

相続される財産・遺産には、その人に属していた権利義務いっさいが含まれますので、家、土地、現金などのほかに、取引先や知人などに対する売上代金や借金のような負債も含まれることとなります。 そこで夫や子の死亡によってあとに残された妻子や老いた両親などが、突然いろいろな義務を負うことになりまので、三か月以内に家庭裁判所に申し出て「自分は相続をしません」という「相続の放棄」をすることが出来ます。 また、相続放棄は、このような場合だけでなく、農業や個人営業などの細分化を防ぐという目的でも利用されています。きちんと相続放棄をしない「相続分なきことの証明書」(前に貰っているのが今相続する分がないという各人の証明書)等によって遺産を貰わない形をとってしますと、あとで相続債務の追及を受けることにもなりかねませんし、いざこざが残った例もあります。 相続や遺産に関してはいろいろな問題が起きやすいものですが、相続に関して困った問題があるときはなるべく早く家庭裁判所に御相談ください。 新潟家庭裁判所長岡支部

私の城下町

歴代与板藩主と藩政① 与板井伊家は十人の藩主のうち四人が彦根関係から養子として迎えられている。与板初代の直矩は時の大老の彦根の井伊直該の三男、与板四代の直存は同大老の孫、与板四代の直存は関係深い大藩伊勢桑名城主松平忠惟四男、与板十代の直安は時の大老井伊掃部頭直弼の四男である。このことは、当時の京都の、進んだ文化が絶えず流入していたことと、歴代与板藩政の進歩性を物語るものであろう。 与板初代藩主直矩は、宝永二年十二月三日、与板藩主としての養命を受けたが、この直矩の入口以来、新しい空気が与板藩政を支配して来た。例えば井伊直矩以前の、幕府直領時代の年貢米のはかり方では、欠米(かんまい)(運んでいるうちに生ずる樹減り)を見込んで取り立ててそれを別俵にした。本米の俵には更にその俵の樹減り(欠米)を追加して入り、つまり欠米の二重取りで、その運賃米は、別

俵と本俵両方に割当てて取りたてていた。更に運搬の舟には庄屋が一人づつ乗ることになってた。直矩の藩政が開始されると、欠米の二重取りを禁止し、欠米の別俵をやめ、欠米は本米の俵に入れたものだけにした。したがって別俵の欠米も運賃米取り立てもなくなくなった。その上以前までは、納納の一斗俵は寸延で大きく、はかり方も山盛りであったのを、樹の寸法を正し、はかり方も斗搔にかけて水平にはかり、運搬にも庄屋の人手を免じて藩の役人でまかなった。これらは当時の与板領の領民たちを感動させ、夜が明けたような希望の眼で新しい藩主を仰ぎ見たものであった。

また、与板第六代直朗の時、直朗が城主格に列せられ、築城地として西蒲原地方の領地を与えられ、石瀬築城の為、与板藩が石瀬藩に、与板領が石瀬領に改名されて、藩庁すべてが石瀬に移転しようとしていた時、与板組みの農家、町方こそって嘆願状を出して熱

心に与板築城を願ひ出た。与板割本新木家文書の関守に次のことがある。読み下すと、 「略、去る亥の年(文化十二年)、石瀬表にて御居所御取り建て仰せを蒙らせられ候ところ、御当所御引き払いに相成り候ては、与板町の者共渡世立ち行き難く、何とぞ御当所に於て(当与板に於て)御居所取り建て成し下し置かれ度きむね、町方の者共御慕い申上げ、ついてはいか様の儀にても仰せ付けられ次第御請け仕可き旨願ひ上げ候段、あらまし承知仕り候ところ、去る八月本与板村御替地、御当領に相成り、町方願ひの通り御当所に於て(与板に於て)御居所仰せ蒙らせられ候、之れに依って町方永久広大の益筋に相成候上は、云々」とある。戦国時代と違って、幕府の築城命令と選地許可命令によって築城する時代であったから、一たん発した石瀬築城を變更させるには、七、八年かかり、第七代直暉が家督を継いでから、ついに幕命を待たずに与板築城にふみ切っている。それ以来与板築城が与板町の発展に貢献したことは、はかり知れないものがあつた。

之入峠の道の開きくに感 激、感謝した「塩のりの」の詩である。左に全文を掲げる。 越の浦、角田の浜の朝な ぎに、つれて焼けてふ塩 入の、坂はかしこし、上 見れば魂もけぬべし、千 里行く駒も進まず、み空 ゆく、雲もはばかる。そ の道を善く安けく、平 らかに、なしけん人は如 何なるや人にませか、み ちはやふる神ののりか、み 仏のつかかわせるかも 言わんすべ、せんすべ知 三たび、をろがむ、 しほりの坂は名のみになりにけり、行く人しぬ べ、よろづよまでも、 築城と言ひ、塩の入峠道 と言ひ、民衆と共に歩こう とした直朗公、直暉公のおもかげがしのばれるのである。時代はまだ、領地の入口の峠は、特にけわしく構築するのが築城の常道であったことを思ふべきである。

お詫びと訂正のお願い ①、九月号の第十五号、井伊氏の系譜中、五代直朝とあるは誤り。四代直朝が正しい。 ②、十月号の第十六号、井伊氏の系図中、与板井伊氏の最後に、直彰とあるは誤り。英彰が正しい。 右お詫びに併わせて御訂正願ひます。

おながい 電話局

このたび、電電公社では仲町から稲荷町にかけての県道(長岡と与板の寺泊線)にある電話ケーブルを地下化する工事を実施することになりました。 現在、電話線は電柱から加入者へ配線してありますが、この工事に伴ってこの区間の電柱と道路上の電話線がなくなり、雪おろしの際の不便もなくなります。 工事は両側の歩道に、小さなマンホールやハンドホールを造り、管を埋設します。ところどころのアーケードの柱に端子箱を取り付け、そこから電話線を配線することになります。 工事は11月から来年8月頃までの予定です。工事中はなにかと地元の皆様にご迷惑をお掛けすることと思ひますが(別途関係の皆様にご説明いたす予定です)よろしくご協力の程をお願いいたします。 与板電報電話局 (二七〇〇)